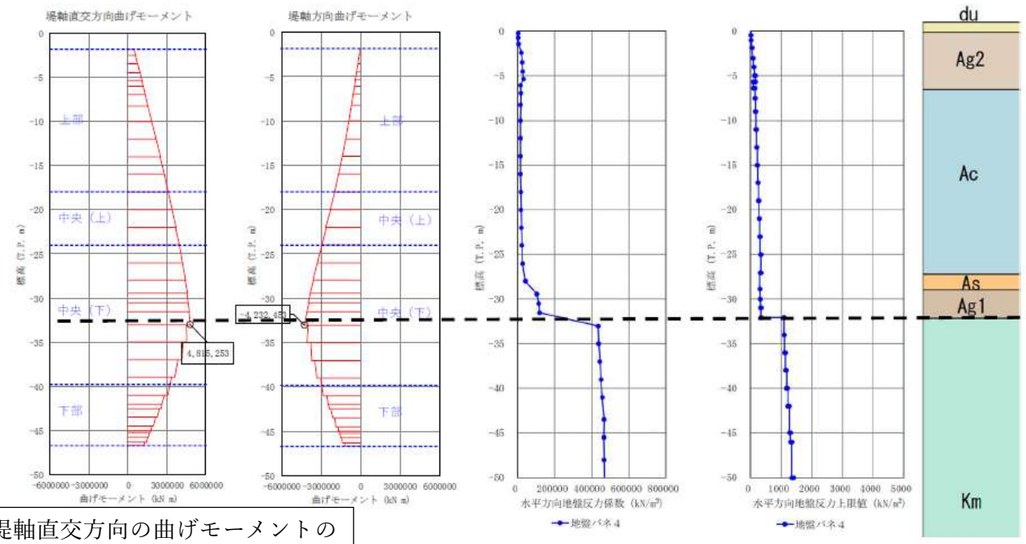
■ 中実鉄筋コンクリートにおける曲げモーメントの発生状況について（#602（3-331p））

断面力図

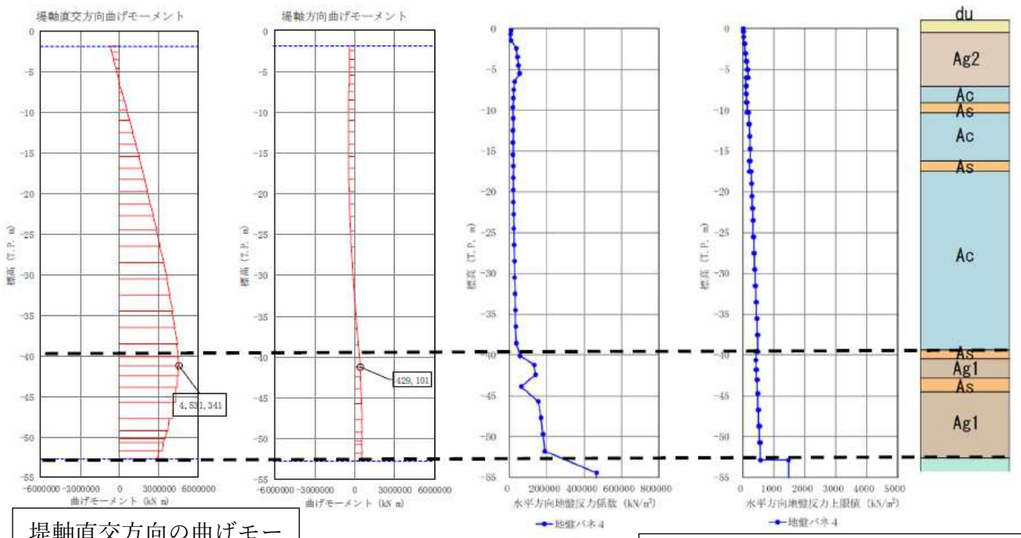
鉄筋引張応力度の最大照査値が得られた組合せケースの断面力図



堤軸直交方向の曲げモーメントの最大値　4,815,253 kNm

図 4.2-69　南基礎における曲げモーメント，地盤剛性（地盤反力係数）及び地盤強度（地盤反力上限値）の深度分布

組合せケース：堤軸直交方向：西向き 0.4 倍
堤軸方向　　：北向き 1.0 倍
鉛直方向　　：上向き 0.4 倍

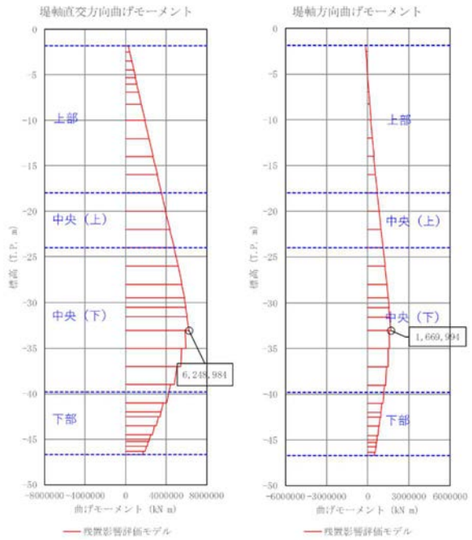


堤軸直交方向の曲げモーメントの最大値
4,531,341 kNm

組合せケース：堤軸直交方向：西向き 1.0 倍
堤軸方向　　：南向き 0.4 倍
鉛直方向　　：上向き 0.4 倍

図 4.2-70　北基礎における曲げモーメント，地盤剛性（地盤反力係数）及び地盤強度（地盤反力上限値）の深度分布

南基礎に発生する曲げモーメントの最大値及び変形図



堤軸直交方向の曲げモーメントの最大値
6,248,984 kNm
北基礎における堤軸直交方向曲げモーメントの最大値の約 1.4 倍

堤軸方向の曲げモーメントの最大値
1,669,994 kNm

※　北基礎と同じ組合せケースにおける南基礎の断面力図
組合せケース：堤軸直交方向：西向き 1.0 倍
堤軸方向　　：南向き 0.4 倍
鉛直方向　　：上向き 0.4 倍

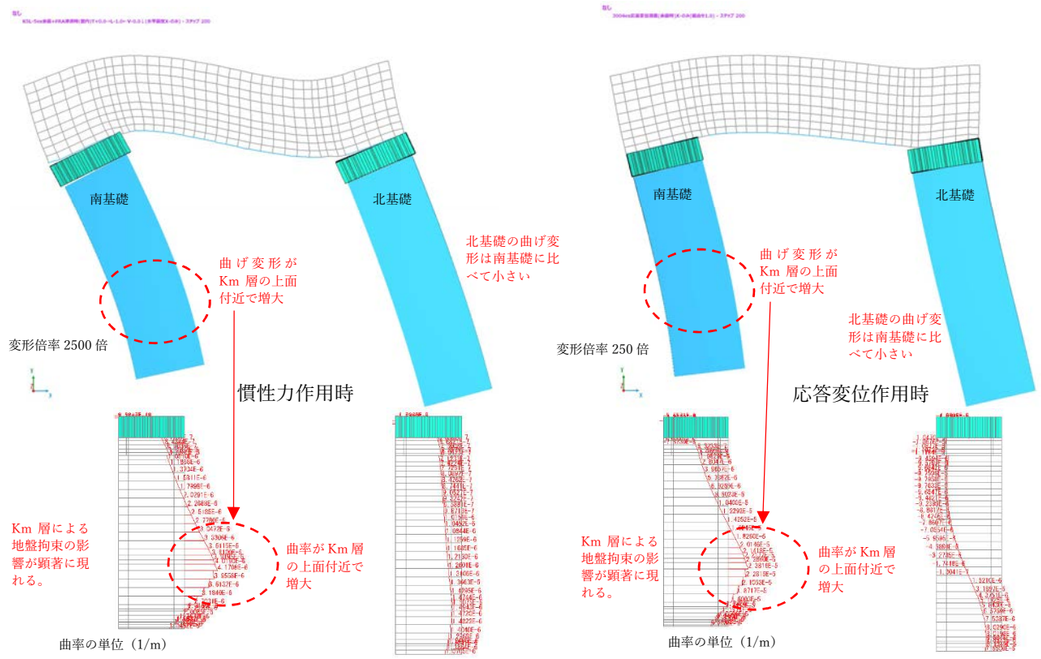


図　堤軸方向の慣性力及び応答変位作用時の変形図及び曲率分布図（巻立て RC と鋼管杭は非表示）